

Campus Today



外国人への「医療×やさしい日本語」を学ぶ



外国人への伝え方を話し合う学生たち

第1学年「入門歯科医学実習」でグループワーク

7月21日(水)、第1学年入門歯科医学実習において、グループワーク形式による「医療×やさしい日本語」体験実習が行われた。外国人でも理解できるように日本語をわかりやすく話す(書く)ことが、近年の医療現場でも注目されていて、学生たちは与えられた課題のもと、留学生(外国人)に対して日本語でどのように表現すれば伝えやすいかを実習において体験した。

「医療×やさしい日本語」が注目されるようになったきっかけは、1995年1月に発生した阪神・淡路大震災である。日本語を母語としない外国人とのコミュニケーションの問題が顕在化し、注目されるようになった。さらに2011年3月の東日本大震災の際に再度注目された。また、医療現場で

外国人専修生として本学病院で研修を行ってきた中国河北省の歯科医師4人(魏校通、班建東、張棟、李董)の先生方が、6カ月間の研修を終えて帰国した。

新型コロナウイルス感染症の影響による日本政府の入国制限によって来日が遅れていた4人の先生方は、昨年12月10日(木)に入学し、本学キャンパスインにて14日間の隔離生活を余儀なくされた。これまでの専修生が経験したことのない未曾有の状況下で、本年1月4日(月)より期待半分・不安半分の研修生活のスタートを切った。それから6カ月を経た7月2日(金)、学長室にて修了証書授与式が執り行われた。

修了式の冒頭、川原一祐学長より「百聞は一見に如かずと言いますが、本校での経験を糧にして、帰国後も頑張ってください」と送別の言葉が贈られた。

続いて指導教員および専修生が研修の感想や両国の異なる医療環境などについて率直な意見交換を行った。専修生達は「希望診療科だけでなく、興味のある

修了証書授与式で感謝の言葉 中国河北省からの専修生が病院研修終える

外国人に対するやさしい日本語のポイントは、①話し出す前に整理する。②一文を短くし、語尾を明瞭にして文章を区切る(です、「ます」で終える)。③尊敬語・謙譲語は避けて丁寧語を用いる。④単語の頭に「お」をつけない。⑤漢語よりも和語を使う。⑥外来語を多用しない。⑦言葉を言い換えて、選択

肢を増やす。⑧ゼスチャーや実物提示。⑨擬音語は使わない。⑩相手の日本語力が高い場合は「やさしい日本語」にこだわらない。などである。

グループワークは、歯学部第1学年80人を1班10人の8班に分け、グループに留学生1人を含めるようにした。今年度の1年生は留学生の数が少なく、また、新型コロナウイルスの影響により入国できていない学生がいるため、思いのほかグループ分けに苦労したが、学生たちは歯科医師として外国人患者(留

学生)に説明すべき歯科医療課題などをもとに、どのように伝えれば理解してもらえるかを学んだ。

ロールプレイの課題の一つは、「親知らずの周囲の歯肉が炎症で腫れています。抗菌薬、鎮痛剤と含嗽剤を出します。含嗽剤は食後に使用してください。1週間後に経過を診ますので予約を取ってください」という内容で、わかりやすく伝えるにはどんな言葉に置き換えればよいか、どんな身振り手振りを交えれば有効か、などをグルー

る科についても柔軟に対応していただき、大変充実した研修となりました。」「歯科医師の先生だけでなく、歯科衛生士など多くの方々と接する機会がありましたが、皆さんからとても優しくしていただきました。」「先生方の優しいご指導、丁寧な診察、チームワーク精神などに敬服しました。」などと感想を語った。

その後、宇田川信之歯学部学長より、研修修了証書が専修生一人ひとりに手渡され、専修生からは掛け軸が寄贈された。専修生を代表して魏先生より「コロナ

ナ禍の大変な時期に、先生方および大学関係者の方々のサポートを受けながら学ばせていただきました。心より感謝いたします」と謝辞が述べられた。

最後に宇田川歯学部学長が「あいにくコロナの時期で、先生方と病院外での交流を十分にできなかった点だけが非常に残念でした。大学院での研究に興味があれば、いつでも大学に帰って来て下さい」と述べ、別れを惜しんだ。

新型コロナウイルス感染症が収まった後、一層の交流を期待したい。

(総合歯科医学研究所 講師 楊静)

新刊案内 『新型コロナウイルスの107日の闘い』 特任教授・岡野匡雄先生が執筆

本学特任教授の岡野匡雄先生が『新型コロナウイルスの107日の闘い』と題した書籍を、人間と歴史社より自費出版した。本書は、岡野先生が自身の新型コロナウイルス感染症の発症(感染)から退院(回復)までの経緯を綴り、若干の医学的解説を踏まえ、周辺の事情と回想をかためて日記風にまとめたものである。

4月16日、診療を終えた岡野先生は、強い倦怠感に襲われ、熱っぽさを覚えて体温を測ると39.7℃。カゼ薬を服用したが、一向に熱が下がらない。「ひよつとしら」……。このとき初めて新型コロナウイルスを意識した。予感の中、検査の結果、「新型コロナウイルス感染症」(COVID-19)と診断され、たちに入院となった。

岡野先生はその後、肺炎が重症化、血中酸素飽和度が88%と



出版された書籍



専修生から寄贈の掛け軸を受ける川原学長

第4学年保存修復学実習 ロールプレイングで問題解決能力を養う



学生同士で課題への取り組みを評価するロールプレイング

7月6日(火)、第4学年保存修復学実習の一環として、診療参加型臨床実習と共用試験歯学系OSCEを見据えたロールプレイング実習が実施された。学生自らが課題に取り組み受験者役をこなす一方、他者を評価する役も体験することで、問題点に気づき、その改善に努めようとする姿勢が伺えた。

第5学年での診療参加型臨床実習の参加にあたっては、臨床実習に必要な知識や技能を持ち合わせていることはもちろんだが、それと共にコミュニケーションや医療安全管理、感染予防管理、患者の痛みや不快感、羞恥心に配慮できるなど、情意的領域に関する能力も持ち合わせていることがより重要となる。

しかし、臨床実習前の基礎実習では、講義で学んだ知識を実習で体験してより深いものとするのが教育目的となり、与えられたタスクをこなしていくことに終始することになる。このため、実は情意的領域に関する能力を向上させるための態度教育を行うことは難しい。

そこで、2020年度から保存修復学実習では、ロールプレイングの手法を取り入れた実習を行っている。ロールプレイングとは「role(役割)」と「acting(演じる)」の組み合わせからできた言葉で、実際の臨床場面を想定し、学修者に役割を演じさせて、問題抽出とその解決法を会得させる学修法である。

今回のロールプレイング実習では、実習室の7カ所のステーションに各々6人の学生を配置された受験者役の学生は5分間で課題を実施。残る5人は評価者役となった。課題終了後に設けた4分間のディスカッションで、評価者役の学生たちは受験者役の学生にフィードバックを行い、よくできていた点や問題点を列挙するのみならず、受験者役に改善案を提示した。その後、受験者役を交代しながら与えられた課題を実施し、評価者

者役の学生は、評価者側としての視点からOSCEを捉えるきっかけになるばかりでなく、他の学生の課題実演中の演技における問題点を抽出し、その改善案を提示する問題解決能力を養うこととなる。実施後の学生アンケートでは、ロールプレイング実習の有効性を示唆するコメントが多かった。



卓球女子選手をエスコートする箕浦さん

第2学年・箕浦史絵菜さん 東京2020五輪にボランティアとして参加 表彰セレモニーで選手たちをエスコート

第2学年の箕浦史絵菜さんは、「東京2020オリンピック競技大会」にボランティア参加した。卓球女子団体・男子団体とハンドボール女子・男子の表彰式のエスコート役を務めた。箕浦さんは2018年12月に東京オリンピックの大会ボランティア募集に応募。翌19年にオリエンテーションや研修を受けた後に選考が行われ、英語、フランス語の検定資格を持つ箕浦さんは正式にボランティアとして採用された。さらに研修を重ね、20年3月には希望していた表彰セレモニーでの役割担当が決まった。しかし、オリンピックはコロナ禍のため1年順延。開催に賛否両論がある中、安心安全な大会の遂行のため予定されたマニユアルは変更を余儀なくされ、ボランティアたちにも臨機応変な対応が求められた。

8月5日(木)には卓球女子団体の決勝戦が東京体育館で行われ、伊藤美誠、石川佳純、平野美宇の3選手は中国に敗れたものの銀メダルを獲得して注目を浴びた。東京オリンピックのセレモニー用に「新しい礼服」をコンセプトにデザインされたボランティア衣装をまとった箕浦さんは、中国、日本、香港の選手らに表彰セレモニーの流れを説明。選手たちの先頭に立つて表彰台へエスコートし、メダルを運ぶなどの役割を担った。

メダルが授与された後は、報道陣が待ち受ける取材ゾーンへ誘導し、セレモニーのスミーズな進行に貢献した。ハンドボールは男女いずれもフランスが優勝。箕浦さんは得意のフランス語で表彰式をサポートした。訪れる人たちに「今までに経験したことのない甘さ」と大好評を博した。岡谷市植沢の五味農園が育てた「サニーショコラ」という品種で、果実のように甘く、生で食べられるのが特徴。産地の植沢は標高1000mに位置し、高冷地特有の昼夜の寒暖差が生み出す高糖度のトウモロコシの産地として知られ、サニーショコラは五味農園の看板ブランドになっている。

病院だより vol.34

シリーズ 専門性⑩

託児サービス室

移り、広さが確保できてお子さんたちはのびのびと遊べるようになりました。玩具も年齢・発達にあった遊びができるよう用意し、お昼寝ができるように布団もあります。隣の小児歯科待合室には授乳室や幼児用トイレがあり、安心してご利用いただけます。

子育てをするうえで患者(保護者)さんの健康と安心、安全、支援ある環境は必須です。子どもも最優先で自身の事は後回しになりがち日々の生活の中で、体調不良を我慢し、子連れでの受診に気が引けて市販薬で済ませてしまうこともあるかもしれません。そんな時、患者さん

また、安全な託児環境を確保するためお子さんの年齢(発達)とそれに伴う危険場所(託児室、トイレ、授乳室など)における危険(活動内容(玩具遊びや活動に伴う危険)に留意し事故の発生防止に取り組んでいます。保育士4人で託児時間を交代で勤務しています。お子さんの安全確保、緊急対応、事故防止に係る資質の向上に努め、緊急時の対応体制、施設等の安全確保を日々確認、改善しています。

昨今の新型コロナウイルス感染症の蔓延により、一時は託児の人数も減少しましたが、現在は戻りつつあります。託児予約はできる限りご希望に添えるよう、託児人数等によっては保育士を手厚くしながら安全に託児できるように対応しています。

ここでいくつかお願いがあります。託児中、お子さんの急な体調不良などの場合は診療科へ連絡させていただく事があります。

託児サービス室は2017年9月に開設され、小さなお子さんがいるお母さんお父さんも安心して受診してほしいを掲げ、お子さん連れでの受診を希望される患者(保護者)さん向けサービスとして「託児サービス」(無料)をしています。

開設当時は小児科の相談室だった部屋を託児室としていましたが、2020年1月より現在の病院棟3階・旧衛生士室に



ボールプールで遊ぶ子どもと保育士

「託児サービス室」は、お子さんとお母さん(保護者)さんと一緒にお子さんの健康と安心、安全、安全確保、緊急対応、事故防止に係る資質の向上に努め、緊急時の対応体制、施設等の安全確保を日々確認、改善しています。

本学北棟売店では8月20日(金)より期間限定で信州極甘トウモロコシ(フルーツコーン)を販売し、教職員や大学病院を

生で食べても甘い！ 極甘トウモロコシが大好評

北棟売店で即完売

訪れる人たちに「今までに経験したことのない甘さ」と大好評を博した。岡谷市植沢の五味農園が育てた「サニーショコラ」という品種で、果実のように甘く、生で食べられるのが特徴。産地の植沢は標高1000mに位置し、高冷地特有の昼夜の寒暖差が生み出す高糖度のトウモロコシの産地として知られ、サニーショコラは五味農園の看板ブランドになっている。



五味農園のサニーショコラ

塩筑歯科医師を対象に ワクチン接種のための 実技研修会を開催



筋肉内注射のポイントを確認しあう塩筑歯科医師

7月8日(木)午後6時30分より図書館学生ホールにおいて「塩筑歯科医師による新型コロナウイルスワクチン接種のための実技研修会」が行われた。塩尻市、朝日村、山形村から総勢23人の開業歯科医師が参加した。

長野県は5月に、ワクチンの打ち手不足を解消する手だてとして、県医師会、県歯科医師会、県薬剤師会、県看護協会の医療4団体と連携し、「県ワクチン接種支援チーム」を立ち上げた。

医師は接種前の予診と接種、歯科医師は接種を主に担当。薬剤師が薬剤の準備を進め、看護職は接種と薬剤準備、接種者の状態観察を担うという、連携した取り組みである。

すでに本学は5月28日(金)に、本学歯科医師を対象に新型コロナウイルス感染症のワクチン接種者養成のための実地研修会を開催している。

今回は、前島信也病院長の「安全な筋肉内注射を行う上での注

意」に関する講演内容をビデオで確認した後、3つのブースに分れ、2人1組となって生理食塩水を使用して、実際に筋肉注射を打つ実技研修を行った。指導を担当したのは、歯科麻酔学講座の谷山貴一准教授、上田敬介助手、西田洋平助教、友松薫助手の4人で、注射針を刺す位置や角度などを一人ひとりの先生方に丁寧に説明を行った。

参加された先生方は、他の先生が接種を行っている様子を真剣に観察し、筋肉内注射のポイントや手順、注意点などを何度も確認しあい、疑問点があれば、即質問するなど、有意義な実技研修会であった。塩尻市で開業をされている伊沢正彦先生より、「本日研修の時間を作ることができました事、ご指導くださった麻酔学講座の先生方に心より感謝いたします。」とお礼の言葉をいただいた。



実行委員長 富士講師と筆者(右)

歯科補綴学講座・樋口大輔教授が 日本補綴歯科学会東海支部長に就任 今秋、本学主管で学術大会を開催

この度、本年6月に開催された日本補綴歯科学会総会を経て、東海支部長を拝命いたしました。日本補綴歯科学会は会員数約6500名の学会で、国内に9つの支部があります。その中で東海支部は本学と愛知学院大学、朝日大学および名古屋大学が中心となり活動しております。

この度、本年10月17日(日)には令和3年度日本補綴歯科学会東海支部学術大会を主催することになりました。実行委員長は地域連携歯科学講座の富士岳志講師が務めます。今年度はコロナ禍によりオンライン開催として、本部を創立30年記念棟に設

置し全国へ配信する計画です。学術大会では歯科医師会との連携事業として生涯研修セミナーを開催致します。テーマは「本年9月に保険収載されるマグネツトアタッチメント」(仮)となります。

インターネットが広く普及し、スマートフォンがあればどこからでも参加できるオンライン形式の学会・会議はコロナが収束した後も継続することが予想されております。今回のオンライン開催による経験を活かして、オンデマンド配信など本学から情報発信することも可能に

ります。

そして本年10月17日(日)には令和3年度日本補綴歯科学会東海支部学術大会を主催することになりました。実行委員長は地域連携歯科学講座の富士岳志講師が務めます。今年度はコロナ禍によりオンライン開催として、本部を創立30年記念棟に設

なるかもしれません。今後も塩筑歯科医師会や松本市歯科医師会として長野県歯科医師会、歯科技工士会、歯科衛生士会と連携しながら地域住民のため、努めて参ります。どうぞよろしくお願ひ致します。

(歯科補綴学講座 教授 樋口大輔)

歯科医療人として高みをめざす 大学院説明会を開催

今年度の本学大学院入学者は16人と近年で最も多い人数でしたが、コロナ禍の影響で卒業後に県外の施設に行かずに本学病院を選んだ臨床研修歯科医が多かったことが一因として考えられる。2022年度も多数の入学者を期待し、第6学年と臨床研修歯科医を対象にした大学院説明会が6月14日(月)、本館6階602教室で開かれた。

大学院の平岡博歯学独立研究科長は「卒業生の中から本学で次世代の教員となって活躍する人材が現れてほしい。そのためには大学院に進んで研究の道を探求してもらいたいと思います。皆さんは研究する能力を秘めています。将来、認定医、専門医、指導医を取得する際にも、学術論文を書いていることが役立ちます」と、大学院に進む意義について力説した。

さらに、高い研究能力と手厚い指導、多彩なセミナー開催など本学大学院の特徴と学位取得までのプロセスを説明し、「前研究科長の高橋直之先生は『我々の使命は若い人を輝かせること』だと常々おっしゃって

「歯周病菌のPCR検査」について学ぶ 第1回病院セミナー開催

7月29日(木)本館601教室において、今年度の第1回病院セミナーが「歯周病菌のPCR検査」と題して、(株)マイクロスカイラボ社長・柳沢英二先生を講師にお招きして開催された。

講師の柳沢英二先生は臨床検査技師として、これまで学会や厚生労働省の感染症サーベイランス事業などの要職を重ねてこられたが、タイにおける耐性菌調査やカンボジアでの臨床検査技師への技術指導など国内外での活動を経て、昨年からコロナウイルス検査について厚生労働省や東京都における検査事業も担当されている。



活発な質疑応答が行われた病院セミナー

講演に先立ち、前島信也病院長から、「本学のブランド力の向上の一環として、病院では医療の質の保障と向上が挙げられている。そのためには医療の客観性と予知性を高める検査の導入は必須事項であり、今回の講演によって歯周病原因菌に関するPCR検査について理解が深まることを期待したい」と挨拶があった。

講演ではまず、歯科口腔外科領域における感染症の原因菌について、通性好気性菌と嫌気性菌に分けて紹介され、嫌気性菌は空気に触れることで死滅してしまうことが培養の困難さとなっており、検査の課題であ

生が接種を行っている様子を真剣に観察し、筋肉内注射のポイントや手順、注意点などを何度も確認しあい、疑問点があれば、即質問するなど、有意義な実技研修会であった。塩尻市で開業をされている伊沢正彦先生より、「本日研修の時間を作ることができました事、ご指導くださった麻酔学講座の先生方に心より感謝いたします。」とお礼の言葉をいただいた。

常者にみられ、タイプII、IVは歯周病患者から多く検出されることから、本検査の有効性が明らかであると述べられた。

次いで、耐性菌と治療に関する臨床上の留意点や歯周病が危険因子となる可能性が大きい全身疾患について述べられ、最後に、今後の課題として、口腔細菌を検査対象とする場合にはバイオフィルムを溶解できる工夫が必要であること、本PCR検査が普及するためにも保険収載されること、さらに簡便にできる新たな歯周病検査の開発が必要であることが述べられた。

その後、各科の先生方から活発な質疑が行われ、本セミナーは予定の時刻を大幅に過ぎて終了した。

当日は研修医を含めた若手歯科医師だけでなく、歯科衛生士、臨床検査技師などパラメデ

イカルの出席もこれまでより多い印象であった。医療の原則として、検査なくして診断はできず、診断のもとに治療が成り立つとある。コロナ禍の中、これほどまでに唾液のPCR検査が行われている時代もなかったのではないかと思われるが、本学においても本来の歯周病原因菌のPCR検査を活かし、多方面の多くのスタッフを巻き込みながら大学院としての医療提供を実践していくための良い機会であると思われた。

最後に、本セミナーに機会と会場を提供いただいた歯科保存学講座・吉成伸夫教授を始め講座の方々、ならびに出席いただき歯科医療における検査の重要性を再認識していただいたすべての皆様にご場をお借りして感謝申し上げます。

(病理学講座 教授 村上聡)

Matsumoto Dental University SNS Information

QRコード: LINE, twitter, Instagram, facebook



大学院について説明する平岡研究科長

- 29日(水) 発表会(大学院)
- 28日(火) Ⅲ期試験(第6学年)
- 27日(月) 前定期試験(衛生学院第3学年)
- 26日(日) 一日体験入学(歯学部)
- 11日(土) 第3回FD研修会
- 9日(木) 前定期試験(衛生学院第1学年)
- 6日(月) 後期授業開始(第1,3学年)
- 6日(月) 後期定期試験(衛生学院第2学年)
- 9日(木) 前定期試験(衛生学院第2学年)
- 5日(日) 一日体験入学(歯学部)
- 5日(日) 後期授業開始(第1,3学年)

9月行事予定

8月1日付 人事異動

8月17日付 野澤 良子 (事務局補佐兼検査センター長)

8月17日付 野澤 良子 (事務局補佐兼検査センター長)

受験生の皆さんへ

総合型選抜(I期)

試験日 10月30日(土)

出願期間 10月12日(火)~10月27日(水)

一日体験入学

①9月5日(日) ②9月26日(日)

※9月開催のみ掲載

開催時間 9:30~15:00 (受付9:15~)

●キャンパスツアー ●ランチ体験 ●模擬実習 ●入試説明・進学相談 など

※参加希望の方は、本学ホームページまたは下記までご連絡ください。

お問い合わせ

HOT LINE 0263-54-3210

松本歯科大学 入試広報室

www.mdu.ac.jp